



Shikoku  
Cancer Center News  
No.57

# 四国がんセンター ニュース



日本医療物産評価機構  
認定番号JC1324号

2016  
**10**  
OCTOBER

**基本理念** 患者の立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



(砥部町とべ動物園 撮影 俊野 健治)

## 昨今のリンパ浮腫治療

当院ではがん治療後のむくみ(リンパ浮腫)の治療を専門的に行っています。リンパ浮腫は主に婦人科がん、乳がん、泌尿器科がんの治療後に発症しやすく、放置しておくとうずがたくなり見た目の問題だけでなく運動障害も生じてきます。四国がんセンターでは平成16年4月からリンパ浮腫外来を開設しており、昨年度は年間1400人(のべ人数)の患者さんを治療しました。リンパ浮腫の治療は保存的治療が主体でしたが、ここ数年でリンパ浮腫の外科治療が進化して手術治療を行う施設が増えており、当院でもこの治療を行っています。進化したリンパ浮腫の外科治療のなかで、現在その効果を認められつつある手術法がリンパ管細静脈吻合術です。リンパ節郭清術により上流でせき止められたリンパの流れを、皮下の浅いところにある直径0.5mm程度のリンパ管と直径1mm以下の細静脈を手術用顕微鏡を用いてつなぐことで静脈

にバイパスし回復させる手術です。この手術が全国で普及した理由は皮膚の上からリンパ管の位置と流れを確認できる新しい検査方法インドシアニンググリーン(ICG)蛍光法が開発され実用化されたことと手術用顕微鏡と手術器具の進化によるところが大きいと考えます。

四国4県でのリンパ浮腫診療は、古くは昭和58年に徳島大学病院でリンパ浮腫診療用ベッド6床により治療が開始されたことに始まり、その後平成8年には同大学の関連病院に診療の場が移り治療が行われました。平成12年には同門の医師がリンパ浮腫治療の専門クリニック(リムズ徳島クリニック)を徳島市内で開業し現在も保存的治療を中心に積極的な治療が行われています。香川県では平成19年に香川大学形成外科でリンパ浮腫外来が開設され、高知県では平成18年に松本デイクリニックと第一リハビリテーション病院で、平成21年に高知医療

センターでリンパ浮腫診療が開始されました。愛媛県では当院以外でも、上述の徳島大学で治療を開始された加藤逸夫教授が退官後に平成12年から四国中央病院で、平成16年から今治第一病院でリンパ浮腫診療を行なっているようです。

四国4県でのリンパ浮腫標準治療の普及と啓発を目的として、平成20年に四国リンパ浮腫治療懇話会を4県の世話人5人で立ち上げ、第1回目の懇話会を松山市の四国がんセンターで開催しました。その後毎年1回四国4県の持ち回りで開催し、今年7月には第9回目の懇話会を行うことができました。

四国がんセンターはがん専門病院の使命として、リンパ浮腫患者さんの治療を積極的に推進してまいります。



(外来部長 河村 進)



## 四国がんセンターの理念

患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。

### ■基本方針

- ①患者さんの権利と尊厳を守る診療・看護を実践します。
- ②がん基幹医療施設として全国及び地域の医療施設と連携した最新の医療を実施します。
- ③がん克服に向けた予防・診断・治療の研究を推進します。
- ④最新のがん医療の普及を目指した教育・研修を実践します。
- ⑤がんに関する医療情報の収集と国内外への発信に努めます。
- ⑥健全な病院経営、持続的な意識改革を実行することにより、患者さんにはかかって良かったと思われる病院、職員には働いて良かったと思われる病院を目指します。

## 看護部の理念

私たちは専門職としての誇りと責任をもち、**がんと共に生きる人を支える最良のがん看護を提供します。**

### ■基本方針

- ①患者さんのQOL向上をめざした看護を実践します。
- ②がん看護の専門家として、チーム医療に参画します。
- ③がんとともに生きる人をサポートするシステムをつくりまします。
- ④専門職として研鑽を重ね、がん看護の指導的役割を担います。
- ⑤患者サービスの向上に向け病院運営に参画します。

## 患者さんの権利とお願い

### ■患者さんの権利

- ①**良質かつ適切な医療を受ける権利**  
個人の人格が尊重され、科学と信頼に基づいた診療を受けることができます。
- ②**「説明と納得」のもとに医療を選択する権利**  
病状や治療法に関する情報の提供と納得いく説明を受け、検査・治療法について自ら選択あるいは拒否することができます。
- ③**自己の診療記録に関する情報開示を求める権利**  
自己の診療記録の情報開示を求めることができます。
- ④**個人情報保護される権利**  
診療上得られた患者及び家族の個人情報は、法律上あるいは治療上の正当な事由のある場合を除き厳正に保護されます。
- ⑤**セカンドオピニオン制度を利用する権利**  
主治医より受けた診断、治療法について他の医療機関の専門家に意見を求めることができます。

### ■お願い

- ①自己の病状や健康に関する正確な情報を医療従事者にお伝えください。
- ②よりよい療養環境を維持するために病院の規則ならびに医療従事者からの指示をお守りください。厳守されない場合には診療や療養を継続することができなくなることがあります。
- ③患者さんの間でも、お互いの立場やプライバシーを尊重してください。
- ④あらゆる危険を回避するために事故防止にご協力ください。
- ⑤がん医療の発展のために当院での治験、臨床試験等の臨床研究・教育・研修にご協力ください。
- ⑥当院は独立採算制をとっています。病院の運営維持のために診療費は確実にお支払いください。



# がん治療 最前線

## がん検診

7月に2016年のがん統計予測が発表されたというニュースがありました。それによると今年新たながんと診断される人は初めて100万人を超え、がんで亡くなる人も増加し37万4000人に上ると予測されています。高齢者人口の増加等の要因により、がんは増え続けています。

がんを治すためには早期発見、早期治療が欠かせません。当院では2006年より最新鋭の画像診断装置であるPET-CTを軸にしたがん検診を行っており、年間500人前後の方が受検されています。

PET-CT検査はFDGというブドウ糖に類似したお薬を注射し1時間半ほど安静にした後、20分～30分程度の撮影を行います。多くのがんはエネルギー源として糖をたくさん消費するためFDGが多く集まり、FDGから出る放射線を検出することでがんを発見することができます。同時にX線CT検査を行うことでFDGの集積部位がより明確になり、またFDGが集まりにくいがんの発見にも役立ちます。

PET-CTをがん検診に使用する利点としては、広い範囲を比較的楽に検査できること、対象となるがんの種類が多いことがあります。当院では100人に1～2人の割合でがんが見つかり、2011年以降では45例のがんが発見されています(肺がん11例、前立腺がん9例、乳がん5例、悪性リンパ腫・甲状腺がん・大腸がん:各3例、他に膵がん・腎がん・膀胱がん・肝内胆管がん・尿管がん)。このうち約2割はPET-CT以外の検査で見つかったものです(早期胃がん、前立腺がんなど)。

このように多くの種類のがんが見つかりますが、すべてのがんを発見できるわけではありません。またがん以外にもFDGが集まるものがあるため、がんと区別しにくいことがあります。他の検査を併用することも有効です。またPET-CTの検診としての有効性(死亡率の減少)はまだ証明されておらず、今後の課題です。

がんドックについての詳しい情報は当院のホームページやパンフレット(総合案内等にあります)で得ることができます。受検を希望される方は予約センター(電話089-999-1112)にご連絡ください。



(がん検診科医長 酒井 伸也)



EVENT  
REPORT

就

労

支

援

support for job seekers

## がん患者さんの「働きたい!!」を応援するために

医療の進歩により、がん治療は大きく変化し、治療を受けながら仕事を続けることができるようになってきています。しかし、「会社に迷惑をかけてしまう」という遠慮から退職を選択してしまう方も少なくありません。

当院では、ハローワークとの協力で就職相談を平成25年7月から行っております。開始後から平成28年3月までに27名の方が就職されました。

また、がんになったからといってすぐに仕事を諦めることのないよう、仕事の面でどのような困り事があるのかお伺



社会保険労務士会での講演

いし、問題解決できるようお手伝いすることが私たちにできることだと考えています。しかし、医療者ができることには限りがあると感じており、働くがん患者さんを取り巻く人達の理解が少しでも得られるように、今夏、県内の社会保険労務士会と明屋書店の協力を得て、就労支援セミナーを開催しました。

社会保険労務士会では、がんに関する基礎知識の講演や、がんと就労に関する映像教材を使った情報提供を行い、支援の必要性について共有しました。

明屋書店では、就労継続に対する相談場面の事例を基に、問題点や職場でできる取り組みについてグループワークを行いました。「今後もっと関心を持って取り組むべき課題と感じた」といった前向きな感想がありました。



明屋書店でのグループワーク

このような活動が、がん患者さんの就労継続の一助になるよう取りかかり始めたところです。

患者・家族総合支援センターでは、年に2回「ナイトサロン」を開催しています。仕事帰りにお立ち寄り頂けるよう18:30から行っています。療養体験やいろいろな気持ちを語り合える場となっており、参加者からは「仕事を持つ人にとって、励みになります」といった声も聞かれています。

また、休職や職場復帰、経済的な問題など、治療と仕事の両立に向けた就労相談を受けています。仕事を続ける上で気がかりや困り事がある場合は、一人で悩まず、まずは相談にお越しください。解決の糸口を一緒に探しましょう。



(医療社会事業専門員 関木 裕美)



## 治験 CHIKEN CORNER 治験コーナー

ちけん

「当院では治験を実施しています」

こちらは、治験・臨床試験管理室です。このコーナーでは、ただ今、募集の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。過去に紹介した治験等に関する質問と回答内容は、ホームページの当室コーナー(アドレスを参照)に掲載しています。(治験主任 峯本 譲)

ホームページアドレス

<http://www.shikoku-cc.go.jp/hospital/guide/kranke/trial/>

### ●現在募集中の治験等情報

右記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在募集中の治験等情報」です。

(平成28年5月31日現在)

- 乳がん……………10件
- 肺がん……………24件
- 尿路上皮がん……………2件
- 胃がん……………9件
- 卵巣がん……………5件
- 膀胱がん……………1件
- 大腸がん……………4件
- 肝細胞がん……………2件
- 頭頸部がん……………2件
- 食道がん……………3件
- 固形がん……………2件
- 子宮頸がん……………2件
- 膵がん……………3件
- 前立腺がん……………5件





# エキスパートナース・メディカルスタッフ

EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF

Part.33

## リンパドレナージ

リンパ浮腫は、手術や放射線治療によってリンパ液の流れが悪くなったときに起こります。がんの治療を受けた全ての患者さんが発症するわけではありませんが、一度発症すると治りにくいという特徴があります。軽いむくみであれば、自己管理しながら普通の生活を送ることができますが、重症化すると生活に支障を来すことがあります。発症後は早い時期から治療を始め、悪化を防ぐことが重要です。

当院におけるリンパ浮腫外来は、医師による保険診療と、リンパ浮腫ケアの専門的な研修を修了したセラピストによるケア外来(私費診療)で患者さんに対応しています。私たちセラピストは保険診療では医師の診察の介助や日常生活指導を行っており、ケア外来ではリンパ浮腫と診断された患者さんに対し、医師の指示に基づき、患者さん1人1人にあった弾性着衣の選

定や着衣方法・必要な患者さんにはバンテージ(包帯法)の指導、またMLD(マニュアルリンパドレナージ)やSLD(患者さん自身が行うシンプルリンパドレナージ)指導を行っています。またセラピストは患者さんの年齢や身体的・心理的・社会的問題、ニーズやセルフ能力を考慮して、患者さん自身が浮腫のケアが行えるよう患者さんと相談しながらケアを行っています。また、つらいがんの治療を乗り越え、なおリンパ浮腫を発症した患者さんの日常生活の問題や不安や苦痛が少しでも改善できるよう努めていきたいと考えています。リンパ浮腫は早期からの対応が大切です。「これはリンパ浮腫かな?」と悩んでいる方は是非リンパ浮腫外来を受診して下さい。



(医療リンパドレナージセラピスト 佐伯 光子)

## 新任医師紹介

## New Physician



消化器内科医師

寺尾 孝志

8月1日より赴任いたしました寺尾孝志と申します。専門は消化器内科ですが当初は乳腺科、呼吸器内科にて勉強させていただきました。当院がまだ堀之内にあったころにもお世話になり充実した日を過ごさせて頂きました。初心に戻り微力ながら皆様のお力になれるよう精進致します。宜しくお願い致します。

●趣味：スポーツ一般



歯科医師

塩田 康祥

8月より歯科に赴任いたしました塩田康祥と申します。平成23年に岡山大学を卒業後、研修医、大学院を経て本院に参りました。本院での歯科の役割を全うし、機能面でも経営面でも微力ながら貢献できるよう頑張ります。若輩でございますので、皆様方からは多くの御指導、御鞭撻を頂ければ幸いです。また、各課との連携を大事にしていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

●趣味：スポーツ観戦

## 2016 健康実現えびめ in 四国がんセンター

—すべては明日の笑顔のために。受けよう!“がん検診”—

●とき 平成28年10月16日(日) 9時30分~13時

●ところ 四国がんセンター 駐車場あり(イベント参加者は無料)

待ってるよ!



だんだんちゃん

当日8:30外来ホールにて抽選を行います

検診希望の方は8:30までに外来ホールへお越しください。

### マンモグラフィ乳がん無料検診... 計45名

■対象：40歳以上で1年以内にマンモグラフィ検診を受けていない方

(受診制限について) ●現在、妊娠中の方、授乳中、妊娠の可能性のある方は検診できません。  
●現在、乳房疾患で治療中・経過観察中の方及び豊胸手術後・ペースメーカー使用の方は検診できません。

### 肺がん 無料検診... 計45名

■対象：20歳以上で1年以内に肺がん検診を受けていない方

(受診制限について) ●現在、妊娠中の方、授乳中、妊娠の可能性のある方は検診できません。

### 骨密度測定 無料検診... 計20名

催し案内 9:30~13:00 (予定)

●ホールイベント(外来ホール)

■小野中学校プラスバンド演奏(9:45~)

■オカリナ演奏(10:25~)

■愛媛大学の皆さんによる楽器演奏(10:45~)

●暖だんクッキング ●栄養相談

●フラワーセラピー ●アロマバスボム作り

●肺機能測定 ●こども調剤体験

●ギターの弾きがたり

●スーパーボールすくい

●ボランティア「グループふれ愛」による

●ティーサービス ●書道コーナー ●産直コーナー

お気軽にご参加下さい。





# お世話になって医ます

## 飯尾皮フ科泌尿器科 西川内科・消化器クリニック

四国がんセンターは、初診患者さん全てが地域の医療施設からのご紹介です。ここでは、かかりつけ医の皆さまからうかがった、様々なご意見をご紹介します。

### 飯尾皮フ科泌尿器科



今回は、西条市で開業されている飯尾昭三先生を訪問しました。

飯尾先生は昭和57年に愛媛大学医学部を卒業され、25年前に現在の西条市周布に飯尾皮フ科泌尿器科として開業されました。奥様が皮膚科医であり、泌尿器科疾患、透析、皮膚科疾患に関して現在も二人三脚で日々診療に携わっておられます。開業当時は19ベッドを有する有床診療所で、経尿道的手術なども積極的に行っていたそうです。しかしその後病院を取り巻く環境も変化し、7年前から入院病床は閉鎖、外来診療と透析医療に専念することになりました。入院病床がないと不便なときもあると聞きましたが、前立腺生検は旧病床をリカバリー室に当てて日帰りで行っているそうです。前立腺がんをはじめ膀胱がんなど数多くの患者さんを当院にご紹介いただいています。

#### 診療で心がけていらっしゃることはどのようなことですか？

地域の特色で高齢者が増加しており、PSA(前立腺特異抗原)上昇のため前立腺生検が必要な患者さんも増えています。泌尿器科の病気に関して見逃さず、基幹病院で適切な治療が受けられるように紹介しています。当院との連携に関して何かご要望はありますか？

連携が始まった当初は、情報提供書のやりとりなど煩雑に思えましたが、現在は患者さんの方もよく理解しており、ファックス紹介もスムーズにできています。また治療後のフォローも問題ありません。



飯尾皮フ科泌尿器科 飯尾 昭三 院長(左)  
第一病棟部長 橋根 勝義(右)

休日のゴルフが最近の日課で、そのほかにもテニスや5歳と3歳のお孫さんと遊ぶことを楽しみにしておられるとのこと、日々の診療ではほとんど動くことがないので趣味をかねて健康維持につとめていらっしゃるそうです。これからもよろしくお願ひします。

(第一病棟部長 橋根 勝義)

### 飯尾皮フ科泌尿器科

- 住所：〒799-1371 西条市周布782番地
- 電話：0898-64-5577
- 診療科目：皮膚科、泌尿器科、形成外科、人工透析(23床)
- 休診日：日曜/祝祭日



診療科目	受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
皮膚科	9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	—
	15:00~18:00	○	○	—	○	○	—	—
泌尿器科	9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	—
	15:00~18:00	○	○	○	—	○	—	—

### 西川内科・消化器クリニック



今回は松山市の「西川内科・消化器クリニック」を訪問し、医療連携をうまく行っていく上でのご意見を伺いました。西川先生は平成5年1月から平成11年9月までの約7年間、四国がんセンターの内視鏡室の責任者として勤務されておられました。私も含め当院の

消化器内科医師に指導していただいた先生です。がん診療だけでなく、食道静脈瘤の治療では日本の第一人者です。日本消化器内視鏡学会の評議員であり、クリニックを開業された後にも研究にも熱心で、平成20年には日本消化器内視鏡学会の地方会の会長も務められています。

#### クリニックの特徴を教えてください。

患者さんに楽に内視鏡検査を受けていただきたいとの思いで開業し、「精度の高い内視鏡を身近に」を基本理念としています。学会が推奨する体に負担をかけない手法、内視鏡の技術操作で苦痛を最小限に抑える手法で内視鏡診療をしています。上部、下部を合わせると年間1700件の検査を行っており、20例以上のがんを早期に発見しています。

#### 四国がんセンターに期待すること及び連携時の要望はありますか？

糖尿病などの生活習慣病や循環器疾患などの併存症を持った患者さんも多く、そのような患者さんでも対応できるような体制を作りたいです。がん治療に関して、患者さんはがんセンターに大きく期待されて

いますからね。

#### 趣味や好きなスポーツはありますか？

サイクリングですね。早朝に近くの坂道を上ったりしています。健康維持にもすごく役に立っていますよ。それ以外にはオートバイです。山をツーリングしたりしています。



西川内科・消化器クリニック 西川 芳之 院長(左)  
消化器内科医長 仁科 智裕(右)

四国がんセンターでは患者さんやクリニックの先生方の期待に応えるために、よりよい連携が行えるように、院内の体制をしっかりと整えていくようにします。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

(消化器内科医長 仁科 智裕)

### 西川内科・消化器クリニック

- 住所：〒790-0878 松山市勝山町2丁目72
- 電話：089-915-1118
- 診療科目：消化器科(胃腸科)、一般内科
- 休診日：日曜/祝祭日



	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	—	—
15:00~18:00	○	○	○	—	○	—	—	—

日曜・祝日は休診です。胃カメラ・大腸カメラの検査は月~土まで毎日しております。



## 骨軟部腫瘍・整形外科

四国がんセンターが現在の南梅本町に平成18年に移転し、平成19年4月から整形外科の常勤体制が開始されました。一般的に整形外科の扱う疾患では骨折などの外傷、変形性関節症、腰痛などの脊椎疾患がメジャーですが、筋肉や脂肪、骨、末梢神経などに発生した腫瘍を扱う骨軟部腫瘍という領域があります。呼吸器や消化器などの内臓に多いのは癌腫と呼ばれるがんですが、骨、筋肉、末梢神経からは肉腫という特殊ながんが発生するため、肉腫の治療は整形外科の骨軟部腫瘍領域の疾患として担当しています。このような事情は一般的には認知されていませんので、担当している疾患が判りやすいように、今回骨軟部腫瘍という言葉を診療科名に追加しました。また内臓に発生した癌腫が骨に転移したものの(骨転移癌)も骨軟部腫瘍の一つです。骨転移癌が

進行した場合、疼痛や骨折、麻痺などを引き起こすことがあり、当科で対応しています。発生頻度では肉腫より骨転移癌のほうが圧倒的に多く、骨折や脊髄損傷などで障害を来した場合日常生活に多大な影響を及ぼします。当院では放射線科医、リハビリスタッフ、看護師、癌治療担当医と協力して、骨転移癌による有害事象を可能な限り防ぐため、骨転移登録システムを立ち上げ骨折や麻痺の予防に努めています。このようなシステムは全国的にも注目されており、その運用が当院で可能な要因として、当院ががんの治療に特化しているため各部署が共通の目標に向かって集中できる体制にあることが考えられます。当科受診やご相談などございましたら、当院のがん相談支援センターへお気軽にお問い合わせください。



(骨軟部腫瘍・整形外科医長 杉原 進介)

## 「患者の言い分、 医者<sup>Fu...</sup>の言い分」



### おばけ先生

#### 「おばけ先生やな」

院長回診の時のお話です。1ヶ月に2病棟ずつですが、院内の病棟を私、院長が回診しています。1年に3巡りすることになります。

ある病棟での院長回診の時、「こんにちは。院長の栗田ですが、体の調子はどうですか」患者さん曰く、『あつ、お化け先生やな』『えっ?』あ、そうか。そういえば、がんセンターニュースに、病院に現れた?妖怪のこと、我が家に住む座敷わらしのことを書いたのです。読んでくださってるんだなあ。感激でした。あれから時間もたちました。新築当時からの我が家の座敷わらしもいつの間にか音沙汰がなくなり、どうやら出ていったようです(-\_-;)そのせいでしょうか、夫婦二人とも病気がちになり、体のあちこちが痛くて疲れやすくなってしまいました。えっ?年のせいだって…うーん、そうかなあ…そこで、今、住み込みの座敷わらしを募集中なのです。(^^\_^^)

#### 身の回りにはいろんな妖怪話があるのですよ

うちの奥さんの仕事仲間の子供さんが、よく『おかあさん。階段に座ってるお兄ちゃんとお話していい?』と言うのだそうです。お母さんには見えるはずもなく、最初はどきどきとしたらしいのですが、実際、お話しているんだそうです(^^\_^^)おおこわつ。いつものことなので、ほおっておいたのですが、子供さんが成長するにつれて言わなくなったそうです。

もと(今も?)女優の安田成美さんは、ご自分が子供の頃、机の引き出しの中に“こびとさん”がいたんだそうです。いっしょに遊んでいたのですが、これもいつのまにかいなくなったそうです。

私の孫娘も、時々不可解な行動をすることがあります。昨年のハロウィンの時、南瓜の絵が描かれてあるキャンディの包み紙をじっと見つめて、

なにかお話しをしているようなのです。近所のスーパーに行っても南瓜のディスプレイを探して、なにか確認をしているようでした。じーじ(私です(^^\_^^))が前向き抱っこして、スーパーの中を命令されるがままに行き来するのです。たぶん、そのスーパーでは名物(どちらかと言えば迷惑かな)になっていたと思います(^^\_^^)。ハロウィンが過ぎて、南瓜がなくなると、何かさみしそうでしたね…どういうわけか女の子ばかりですね。こんな不思議なエピソードの持ち主は。

#### 小説や映画にも

浅田次郎さんの小説「鉄道員(ぼっぼや)」は、不思議だけど素敵なおはなしですね。映画だと「ゴースト/ニューヨークの幻」でしょうか。一度死んだものが、相方を愛するあまり現世にもどってくるお話です。皆さんは、ただのフィクションだと思いませんか?私もその一人ではあるのですが、こんなお話があります。

水木しげるさんの妖怪事典にこんな文章があります。ある雨の日に、亡くなった奥さんが、夫を心配するあまりこの世に現れて、なにかと身の回りの世話をしたというのです。帰りに(どこへ帰ったんでしょう(^^\_^^))傘を忘れて帰ったそうで、東北地方のあるお寺に、大正時代までその傘がおいてあったそうです。どこのお寺かは書いてありませんでした。でも、なんととも言えずロマンチックなお話ですね。その傘、見たかったなあ。

#### 心の中に何かがあるのでしょうか

誤解のないように言っておきますが、私自身は幽霊や妖怪の存在は信じていません。我が家の“座敷わらし”も、女房殿と娘が、いる(今はいないので、“いた”が正しい?)と言うのです。あまたの妖怪伝説、少し昔で言えば“遠野物語”や、現代では“山怪”に出てくる奇怪なお話なんぞを読んでいると、私たちの心の中にある、抗いようのない力に対する畏怖の念が、妖怪や幽霊を作り出したと思うのです。でも、おおつばらには言えませんが、ここだけの話にしておきましょう。いと信じて疑わない人たちもいるのですから。

(院長 栗田 啓)



# ハイ!一句 がんセンター 俳句ポスト



## エレベーター朝の香水残し去る

(80歳)

香水は夏の季語です。エレベーターに同乗した人から香水が香る。その人がエレベーターを出て行ったあとに香水の香りのみが残った、という場面なのでしょう。「朝の」香水、とあるので、爽やか系の、たとえば柑橘系の香りを想像しました。また、「残し去る」という下五からは、そんな香りが似合う、颯爽とした人を思い浮かべました。

香水匂につきものの艶っぽさがあまり感じられず、逆にその意外性に惹かれました。

## 入選 くん風やはしをわたればとなり町

(12歳・男性)

吹き抜ける風を感じながら橋を渡る。渡りきるとそこはとなり町。橋は境界でもあり、町と町をつなぐものでもあり。薫風というさわやかな風ととりあわさっている、作者は橋を渡ることに、希望や期待感をもっているのだと感じます。

## 入選 ねむるやまはしるくるまががんにみゆ

(10歳・男性)

眠る山(山眠る)は冬の季語。山を擬人化した言い方です。とすると、冬山は人に、そして冬山の山道を走っている車をがんに見立てた、という独特の発想ですね。がんが動き回っている、と考えると、とても怖い発想ではありますが、発想のオリジナリティに一票です。

## 入選 ここみさんあさってのフラがんばって

(85歳・男性)

こんな風に、575で言ってもらったら嬉しいですね。ここみさん、あさって、フラという具体的名詞がそれぞれに印象的で効いています。季語はありませんが気持ちのよいご挨拶句。

## 入選 ばあちゃんのびょういんはばすがいっつも

(6歳・女性)

いっつも、の後に言いたかったことは何でしょう。たくさん停まっている?出たり入ったりしている?ばあちゃんの病院のバス●●●●●などと、●●●●●●の部分に季語を入れたら有季定型にはなるのでしょうか、定型に収まらず余韻で想像させられるところがこの句の魅力であり力。自由律の一句といえましょう。

選者:三瀬あき(100年俳句計画いっし組)



## 皆さんの「一句」募集中!!

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ!一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。選句は、毎月当コーナーに掲載させていただきます。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。



## お知らせ

いつも四国がんセンターニュースをご愛読頂きありがとうございます。ニュースの定期発送をご希望の方は、広報活動委員までご連絡ください。

■ご連絡方法… ●電話:089-999-1111(代表) ●FAX:089-999-1100

なお、既に定期発送させて頂いている方で、発送が必要でない場合はご一報頂きますようお願い申し上げます。

## ご意見箱設置



当院では、中央待合ホールや各病棟にご意見箱を設置しております。皆さんからいただいた当院への貴重なご意見、ご感想は職員一同、真摯に受け止め、患者さんの立場に立った、よりよい療養生活、療養環境に貢献できますよう改善に努めて参りたいと考えております。今後とも当院に対するご意見等がございましたらご遠慮なくお寄せください。(氏名・病棟名は無記名でも結構です。)

皆さんからのご意見、ご感想に対する回答は、2階患者さん用エレベーター横の掲示板に掲示させていただきます。

ご意見、ご感想等ありましたら、広報活動委員までお寄せください。

■広報活動委員…谷水 正人(委員長)・山本 美二・石井 浩・山下 素弘・井尻 昭・伊藤 真之・玉井 健一・樋口 智之・高市 瑞穂(ボランティア)

### 標語の紹介

- 10月 思いやり 相手の立場で 気持ちよく
- 11月 挨拶は 職場を明るくする第一歩
- 12月 笑顔で対応 心で通じる 治療法

### 1日平均患者数

	27年度	28年度(4月~8月末)
入院	315.3	281.3
外来	500.1	464.5

### 手術・化学療法・PET・CT件数 ※ ( )内は1日平均件数

	27年度	28年度(4月~8月末)
手術	2,329 (9.6)	900 (8.7)
外来化学療法	9,016 (37.1)	3,644 (35.4)
PET・CT	4,639 (19.1)	1,822 (17.7)



当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

診療科	月	火	水	木	金	
消化器	内科	梶原(化)	仁科(化)	仁科(化)	梶原(化)	中倉(化)
		西出(内)		堀(内)	日野(化)	
		瀧野	浅木	石井		瀧野 群元
	外科	肝・胆・膵			野崎	
		食道・胃	栗田	羽藤	野崎	
		大腸	小林	落合	予 小島	★ 落合
呼吸器	肝・胆・膵		大田	棚田		
	内科		野上		上月	
	内科科	上月	原田	○ 野上		
	内科新患				上月	
	外科	山下	上野	杉本	山下	野上 原田
緩和ケア・精神腫瘍科	三好(緩和)	谷水(緩和)	成 本(緩和)	落合(緩和・精神)	成 本(緩和)	
	大中(緩和/第4週)					
泌尿器科	予 橋根		橋根		○ 二宮	
	○ 細川		○ 二宮		○ 中島	
	○ 中島		○ 細川		○ 角田	
血液腫瘍内科		吉田		吉田		
	感染症・腫瘍内科	○ 濱田			○ 濱田	
婦人科	竹原/坂井	横山(隆)	竹原	大 亀	白山/藤本	
	横山(隆)		白 山		坂 井	
	横山(貴)		藤 本		大 亀	
	青 儀	高 橋	高 嶋	青 儀		
乳腺外科	高 嶋	大 住	高 橋		大 住	
			原 (化)		原 (化)	
形成・再建・皮膚腫瘍外科	○ 河村	○ 山下(昌)	○ 河村	○ 山崎	○ 山下(昌)	
頭頸科・甲状腺腫瘍科 (耳鼻咽喉科)	門田	○ 担当医	門田	○ 担当医	橋本	
	橋本		松本		松本	
	花川		花川			
骨軟部腫瘍・整形外科	○ 杉原		○ 杉原	△ 杉原	○ 杉原	
	中田		中田		中田	
放射線	診断科	菅原	桐山	清水	菅原	
	治療新患	片岡	片岡	上津	西川	
	治療科	西川	西川	片岡	片岡	
予 ストーマ外来			落合	橋根	小島	
	予 リンパ浮腫外来		○ 河村		△ 山崎 △ 山下(昌)	
リンパ浮腫ケア外来		リンパ(浮腫ケア(自費))			リンパ(浮腫ケア(自費))	
予 麻酔/疼痛外来					予 首藤	
原発不明がん診療科		△ 青儀				
予 セカンドオピニオン	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
遺伝性がん診療科	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	がん看護外来	
がんドック	酒井	徳永	酒井	徳永	酒井	
内視鏡生理検査	日野	治療内視鏡	日野	堀	寺澤	
	堀	治療内視鏡	西出	西出	堀	
	群元	治療内視鏡	群元	群元	西出	

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当  
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。

「松山市南高井」 撮影：高市瑞穂



外来診療一覧表

- 新患受付時間 7:30~12:00
- 診療時間 8:30~17:15
- 休診日:土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください

四国がんセンター概要

〒791-0280  
愛媛県松山市南梅本町甲160  
TEL:089-999-1111  
FAX:089-999-1100  
<http://www.shikoku-cc.go.jp/>

環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。

交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。

今後も患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。

診療内容

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 呼吸器内科       | 乳腺外科         |
| 呼吸器外科       | 婦人科          |
| 消化器内科       | 頭頸科・甲状腺腫瘍科   |
| 消化器外科       | 骨軟部腫瘍・整形外科   |
| 精神腫瘍科       | 形成・再建・皮膚腫瘍外科 |
| 緩和ケア内科      | リハビリテーション科   |
| ストーマ外来      | リンパ浮腫        |
| 禁煙外来        | 放射線診断科       |
| 泌尿器科        | 放射線治療科       |
| 血液腫瘍内科      | 病理診断科        |
| 感染症・腫瘍内科    | 歯科           |
| セカンドオピニオン   | 麻酔科          |
| 家族性腫瘍(がん)相談 | がんドック        |
| がん看護外来      | 原発不明がん診療科    |

病床数 405床

TRAFIC ACCESS 交通のご案内



車でのお越しの場合

- 松山空港から車で 約45分
- JR松山駅から車で 約30分
- 松山市駅から車で 約25分
- 松山自動車道
  - 松山インターから車で 約20分
  - 川内インターから車で 約20分

電車・バスでお越しの場合

